

他院にて肛門周囲膿瘍切開手術。

松本医院で治療中の方の経過報告。

「クローン病の経過報告」

倉田延邦 61 歳

2016 年 6 月 1 日

病状・治療歴

- ・喘息 52 歳発症、松本医院にて治療中（2 年経過）
- ・クローン病 58 歳に肛門周囲膿瘍切開手術 松本医院で治療中（2 年経過）
- ・35 年間悩んだ蕁麻疹 松本医院で治療、1 カ月で完治
- ・原因不明の背中から右腕にかけての激痛、日々痛む箇所が移動するのが特徴
松本医院で治療、1 カ月で完治

その後

喘息治療のため初めて松本医院を訪れた時、ついでに肛門周囲膿瘍や便の状況等を説明したところクローン病の疑いが濃いと言われ、以後 2 年間にわたり治療を続けています。肛門周囲膿瘍を切開手術した際、クリニックのドクターから、痔瘻になる可能性が非常に高いので注意するようと言われました。もともと医者嫌いなので、松本先生 1 本で治療を続けてきましたが、体調も徐々によくなり、今年の 3 月に思い切ってクリニックを訪れ経過を診てもらいました。結果は、痔瘻の気配は全くなく、きれいに治っているとのことでした。松本先生には、薬をお願いするときにこのことはお話ししました。明後日診察を受けに高槻までまいります、その際に先生に直接話そうと思っています。とにかく処方されている漢方薬のまずさは形容しがたいものがあり、ついつい自分で言い訳をつくり自分を納得させ、飲まない選択をすることが多い薬です。先生から「クローン病の薬はもう飲まなくていい。」と仰っていただけることを願っています。

過去の[手記](#) 「長年患った喘息、蕁麻疹、肛門周囲膿瘍、筋肉痛
完治へ向けて（途中経過）」 2016 年 1 月 13 日